

(1)

県下の交通事故 (8月23日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
昭和63年	3,192件	78人	4,155人
平成元年	3,310件	76人	4,352人
比較	+3.7%	-2.6%	+4.7%



◇ 第85号 ◇

発行所
〒400 甲府市丸の内一丁目9-11
県民会館2階
財団法人 山梨県交通安全協会
TEL 甲府 (0552) 32-4682
(0552) 37-7827

秋の全国交通安全運動

9月21日～9月30日

守ろう子供と高齢者 暴走族追放運動を推進

秋の交通安全運動は、九月二十一日から三十日までの十日間、全国一斉に実施されます。本県では、①高齢者と子供の歩行中、自転車乗用中の交通事故防止 ②若年運転者による無謀運転の防止 ③正しい方法によるシートベルト着用の徹底 ④暴走族追放運動の推進 ⑤飲酒運転の厳罰を重点として運動を進めることにしました。高齢者の交通事故が増加傾向のため九月十一日から二十日までの全国一斉に高齢者交通安全週間が行われますが、これに続いて秋の運動が実施されます。県内の本年上半期の交通事故は、死者はおおむね前年同様ですが発生件数、傷者ともに増加し、観光期を迎えて事故の多発が憂慮されます。この運動への県民の参加意識を高め、総ぐるみで事故防止につとめることにしています。

無謀運転の防止を

- 県交本部がきめた運動の重点項目と、おもな実施事項は次のとおりです。
- 一、高齢者及び子供に対する交通安全教育・指導の徹底
 - 二、街頭における啓発・指導、保護・誘導活動の強化
 - 三、自転車の点検・整備の励行と適正な駐車場の促進
 - 四、高齢運転者に対する適性診断の推進
 - 五、高齢者交通安全クラブの結成促進と活動の定着
 - 六、反射シール等夜間における交通安全用具の普及と活用の促進



無謀運転！速度の出し過ぎ

当協会が管轄する富士北麓地域でも有数の国際的観光地として、一五〇〇万人余を数え、山梨県内の観光客数の約四割を占めております。これらの観光客の大多数がマイカーや観光バスなどを利用して来訪するため、観光シーズンには大渋滞が生じております。

このため、関係機関などのご努力により、東富五湖道路の延長や主要幹線道路の整備、各種交通規制、交通情報の提供等、渋滞解消のための諸対策が着々と進められておりますが、観光客数は年ごとに増加し、渋滞解消にはなっておりません。また、若者の来訪が多くなり、若者のスピードウエイに近接していることなどから県内外の暴走族が集まり、暴走行為を繰り返しております。



安全のため

当協会が管轄する富士北麓地域でも有数の国際的観光地として、一五〇〇万人余を数え、山梨県内の観光客数の約四割を占めております。これらの観光客の大多数がマイカーや観光バスなどを利用して来訪するため、観光シーズンには大渋滞が生じております。

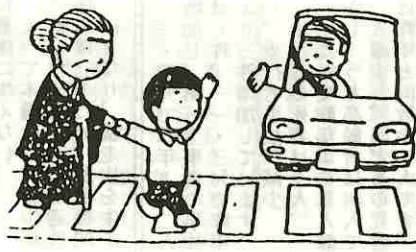
このため、関係機関などのご努力により、東富五湖道路の延長や主要幹線道路の整備、各種交通規制、交通情報の提供等、渋滞解消のための諸対策が着々と進められておりますが、観光客数は年ごとに増加し、渋滞解消にはなっておりません。また、若者の来訪が多くなり、若者のスピードウエイに近接していることなどから県内外の暴走族が集まり、暴走行為を繰り返しております。

観光地の交通安全

富士吉田交通安全協会 渡辺 都留夫

末で二六六件、死者八人、負傷者四〇七人と前年と比較して増加傾向が顕著です。昭和六十一年以降の増加傾向がなお続いており、誠に憂慮すべき状況下にあると言えます。

これらの事故の多くは国道など主要幹線道路を中心として発生し、その原因も過ぎや無理な追い越しなど



の徐行、歩行者の安全確保)

- 一、暴走族の反社会性の周知徹底など、指導・教育の充実
- 二、家庭、学校、地域及び職場から不法改造車両等の追放
- 三、暴走族が集まりやすい場所、広場の管理の徹底
- 四、暴走族追放三原則、暴走を「許さない」「させない」「許さない」の徹底
- 五、暴走行為を見たら一〇番通報するなど地域ぐるみの暴走族追放の推進
- 六、暴走族追放決議や宣言採択による暴走行為を許さない世論の醸成

用効果の啓発の強化

- 一、飲酒運転四ない運動の推進 (運転する人なら飲まない、運転する人には飲ませない、酒を飲んだら)
- 二、市街地、観光地等における交通渋滞の解消
- 三、踏切通行時における安全確認の徹底
- 四、「無車検」「無保険」車両運転の追放
- 五、道路交通に関する情報提供と効果的な広報活動の強化



運転しない、飲酒運転を許さない)

- 一、酒類提供業者の協力による飲酒運転の抑止
- 二、家庭、職場、地域での飲酒運転をしない話し合いの推進

体的、経済的、精神的な苦痛は言いたくないものがあると思います。私が交通安全活動に携わって一番感じるのは、「自分は事故に巻き込まれない」という考えです。また、そうは思わないまでも交通事故の危険というものを対してあまり深く考えていないのが



一人ひとりが交通ルールを守り、思いやりある道路利用をする。自分たちの地域から交通事故をなくすために一致団結し、事故防止活動を行うことが肝要だと思っております。

交通事故は、被害者でも加害者でも悲惨であります。一度交通事故を起こすと肉

二十世紀の国土づくりの根幹とも言われる磁気浮上式鉄道(リニアモーターカー)の実用化に向けての現実路線の建設が検討委員会でわが山梨県に決定しました。リニア中央新幹線への布石となり、その実用化により、地域の文化、産業の振興や東山梨地域経済活動の拡大など大きなメリットが期待されます。実験線建設のためには多くの課題が山積していますが、高速交通の時代を迎えるに当たり、県民の一人として新しい山梨の時代の幕明けを待望いたします。

▽真夏の午後峡北へドンドンド、中学時代かよいなれた野猿返しを走って久しぶりに清春芸術村をたずねました。白樺と湧水を生かした池にかこまれた白樺美術館に入ると、まず白樺派重鎮・武者小路実篤の「日は好日」の書が目にはいる。好きな言葉のこの書にわが意をえた心境でしばしば見ている。館内をめぐり芸術の世界に貢献した多くの巨匠の書画等を鑑賞することができました。

岸田劉生の麗子洋装之像を前にすると、長女麗子をいとおしむ父親の姿があらりと浮かぶようです。それその作家、画家が文学に美術にその生涯をかけて精進し、自然や人びとの美しい姿を求めた傑作に深い感動を覚えたものです。

美術館の奥手には、今年四月、東京新宿の梅原邸より移築したという画家、梅原龍三郎のアトリエがみえます。

西に傾いた陽の木漏れ日に輝く瓦屋根、落ちついたうす茶色の壁、なつかしい障子、松や桜などの深い緑にかこまれてたたくむ和風のアトリエは、画家の往時をしのぶにふさわしいものです。

思いっきの美術鑑賞ではあっても、すばらしい自然環境の中で、ひとときの清涼感を味わい心が洗われる思いで帰路につきました。

中央自動車道で死者急増

負傷者も大幅に増える

発の傾向が続いています。県内の交通事故は、発生二千五百一件(前年比百三十三・三%増)、死者五十三人(同三・一%増)、傷者三千二百九十五人(同二・六%増)で、昨年と比べて死者はわずかに減少しましたが件数、傷者数はともに増加し、とく



ことし上半期の交通事故は、全国(概数)では発生三十三万七千九百九十五件(前年比二万二千八百七十三件八・〇%増)、死者五千八百八十二人(同三・七%増)、傷者三十七万七千九百六十五人(同二万九千五百四十二人八・五%増)といずれも大幅に増加し多

しかし、人口十万人当りの死者数は全国平均四・一二人を大幅に上回り四・六二人で全国ワースト第四位となっています。死亡事故の発生をみると、とくに中央自動車道における降雨中とかスピードの出し過ぎによる事故が目立ち、ドライバードの道路環境に対応し

た慎重な運転がのぞまれます。交通事故の特徴は次のとおりです。
一、夜間に六割強が発生している。
二、無謀運転が過半数を占めている。
三、最高速度違反、酒酔い、信号無視、追越し等無謀運転によるものが三十二件、三十四人、六〇・四%と過半数を占め、うち十三件、四〇・六%が若者によるものです。
四、自爆型事故は約四割、死亡事故のうち自爆型が二十二件、二十三人で全体の四一・五%を占めていて、その昨より十四件減少しています。

うち単独事故は十件、五〇・〇%です。
五、高齢者の原因する事故と死者が増加
高齢者の死者は十二人、

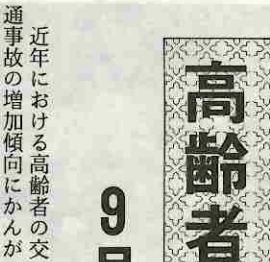
区分	発生件数	死者数	傷者数
昭和63年	2,398	59	3,093
平成元年	2,501	56	3,295
増減	+103	-3	+202
率	+4.3%	-5.1%	+6.5%

四、若者(二十四歳以下)が原因する事故が多い
若者の死者は十六人、二八・六%で、第一当事者の事故は二十件、三七・七%です。
歩行者の死者は十八人、二一・四%で昨年より二人増加し、第一当事者の事故は六件、一・三%で昨年より三件増加しています。
六、歩行者事故が減少
歩行者の死者は十八人、一七・九%で昨年より二人減少し、うち高齢者は四人で一人減少し、子どもの死者は昨年と同数の一人です。
七、県外者の事故が大幅に増加
県外者の死者は十八人、三二・一%で昨年より六人増加し、第一当事者は十六件、三〇・二%で昨年より五件増加しています。
八、中央自動車道の事故が急増
中央自動車道における死亡事故は十二件、十五人で死者の二六・八%を占め、とくに五月には五件七人と多発し、県外者の死者が十人、十のぼっています。
交通事故関係者のシート

ベルトの着用は低調で、全人身事故者の着用状況は五月末現在、着用率七六・四%と全運転者より低率で、とくに、死亡事故では死者五十六人中着用義務者三十三人のうち着用者は十二人、三四・四%で、未着用者が着用していれば救命されたと思われる者も多く、着用者の大切さを痛感します。
県警察は、本格的な行楽シーズンを迎えるにあたり交通事故の増勢に歯止めをかけるために、交通安全意識を高めること、二輪車事故の防止対策の推進、中央自動車道における指導取締りの強化、高齢者の安全教育と事故防止の取組の強化、シートベルト・ヘルメットの正しい着用徹底等を重点に、交通事故防止に努めることとしています。(交通安全課資料提供)



宇野総理大臣から安全功労者表彰を受ける堀内益信氏



高齢者交通安全旬間

9月11日から9月20日まで

近年における高齢者の交通事故の増加傾向にかんが

み、高齢者の交通安全について県民の意識を醸成し、高齢者自身の交通安全知識の向上と交通安全思想の高揚を図り、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣付けて高齢者の交通事故を防止する目的で、九月十一日から九月二十日までの十日間、全国一斉に高齢者交通安全旬間が実施されます。本年上半期の県内の高齢者が係る交通事故は、三百七十二件で全体の一五・五%です。また、高齢者の関係が高齢者事故全体の七一・六%、死者は十二人、二一・四%でいずれも昨年より増加しています。

堀内さんに総理大臣賞

県内初、交通安全に功労

交通安全、産業安全、火災予防など国民の日常生活の安全をおびやかす災害の発生防止活動に従事し、功労のあった個人および団体に対して、さる七月一日総理大臣官邸で内閣総理大臣賞を贈る表彰式が行われました。安全功労者に対する内閣総理大臣表彰は、昭和三十三年に創設された「国民安全の日」を記念して日常の安全活動に功績のあった個人と団体に贈られているもので、今年には個人十四人と十一団体に贈られ、うち交通安全関係では個人九人と一団体が受賞しました。本県では、県交通安全協会副会長、長坂交通安全協会長、堀内益信氏(長坂町)が交通安全功労者として本県初

り増加しています。秋の全国交通安全運動と一体のものとしてこの旬間を強力に推進することになりましたが、県交安本部が決めた旬間の重点目標は次のとおりです。
一、高齢者の交通安全に関する県民の意識の醸成
二、歩行者(とくに横断中)及び自転車乗用中の高齢者の交通事故防止
三、高齢運転者の交通事故防止

とどまらず凶悪化の傾向を強めて全国的な批判が高まっています。これらの情勢を踏まえ山梨県議会において、暴走族追放の決議をするに際し暴走族問題に対する県民の関心を高め、暴走族を許さない社会環境づくりの醸成と、六月二十七日の県議会本会議において全会一致により暴走族追放に関する決議を行いました。これを機に県民あげて暴走族追放の気運が高まるものと期待されます。

暴走族に関する決議
昨今の暴走族は激しい指導取り締まりなどにより、集団から少数グループによるゲリラ化の傾向を強めると同時に、その行為は単に暴走にとどまらず凶悪化の傾向を強め、今や、大きな社会問題となっている。本来、明日の日本を担うべき青少年等による交通秩序を無視した暴走行為、深夜の暴走行為の横行は、県民の安全に深刻な影響を及ぼし、若者の生活に不安を醸成している。よって本議会は、青少年の健全育成と正しい交通秩序の確立のため、関係機関と一体となり、暴走族を生ま

交通安全
年間スローガン募集
9月末締め切り

【募集期間】平成元年七月中旬から秋の全国交通安全運動最終日の九月三十日(金)まで(当日消印有効)
【募集部門】
◎一般からの募集
△運転者(同乗者を含む)に対するもの
◎一般：小・中学生を除く。普通はがきに一部門「スローガン」住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記。自募の場合、はがき大の厚紙を用い一括送付可。地域、職場ごとの応募を歓迎する。◎子ども：小・中学生に限る。普通はがきに「スローガン」学校名、所在地、電話番号、学年、氏名を明記。自募のものに限る。
【募集方法】
◎子どもからの募集
小中学生自身に交通安全を呼びかけるもの
【募集方法】
◎一般：小・中学生を除く。普通はがきに一部門「スローガン」住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記。自募の場合、はがき大の厚紙を用い一括送付可。地域、職場ごとの応募を歓迎する。◎子ども：小・中学生に限る。普通はがきに「スローガン」学校名、所在地、電話番号、学年、氏名を明記。自募のものに限る。

◎最優秀(計三点) 内閣総理大臣賞状と賞金各十万円(ただし、こどもは本人に商品と在学に記念品)
◎優秀(計三点) 総務庁長官賞(計三点) 賞状と賞金各三万円(こどもは前に同じ)
◎警察庁長官賞(計三点) 賞状と賞金三万円(こどもは前に同じ)
◎文部大臣奨励賞(こどもは前に同じ) 全日本交通安全協会賞状と賞金五千元(こどもは本人に商品)

★改装した新しい広いコースで、
全車種(普通、自二、けん引、大特、二種免許)の免許取得を!
早朝、夕方、日曜その他生活条件に合わせた教習を!

財団法人
山梨県交通安全協会経営
公認 **山梨自動車学校**
中巨摩郡八田村野牛島 1828
TEL (0552) 85-0752

交通安全に思う

県警交通部長 鶴田 治 昭

最近の交通情勢は、車両保有台数及び免許所得者の増加、産業経済の発展、休日増加に伴うレジャー指向による交通量の増加・交

二次交通戦争」とまで言われる厳しい情勢となりまして、県内においても同様であり、昨年は二二四名の方が亡くなり、本年に入っても七月末現在六十九名が死亡し、件数・死者・負傷者いずれも昨年を越え、憂慮すべき情勢となっております。こうした死亡事故の特徴として



通流の変化により、交通事故多発傾向が一段とすすみ、昨年の交通事故による死者は、昭和五十年以来十三年ぶりに一万人を越え、「第

SDカードは安全運転者のしるし

あなたもセーフドライバーの仲間入り

①若者(十六才〜二十四才)が二十名、高齢者(六十五才以上)が十

守ろう 前々から言われていることとありますが、交通のまわり(ルール)とは、全道路交通法に書かれている「歩行者の通行方法」が、第三章には「一車両の交通方法」が具体的に記載されています。道路交通法は、交通違反を検挙するための法律ではなく、国民一人ひとりが歩行者として、また、ドライバーとして守るべきルールが決まられているのであります。

また、法律により決められていくとも人間社会の中で生活し、良好な人間関係を保持するため当然守るべき道徳(マナー)があり、相手を持つことや、譲り合う心を持つことが大切であり、これが秩序ある交通社会をつくり上げていくのです。

中、高、大で一応の教育は終わります。しかし交通安全教育は、幼稚園児から高齢者まで社会教育として常に考え実行することが大切です。

の指導、高齢者交通安全クラブの活用など多角的な活動を行ってまいりますので、関係者のご協力をお願いいたします。

この総合対策の一環として、八・一・九「バイクの日」を「バイクの日」と定め、活動を集中的に実施することになりました。

業務を始めました。新しい環境の中で事務局員一同交通安全のために努力してまいりますので、ご指導ご協力をお願いいたします。

この総合対策の一環として、八・一・九「バイクの日」を「バイクの日」と定め、活動を集中的に実施することになりました。



ゆとりこそ無事故につながる道しるべ

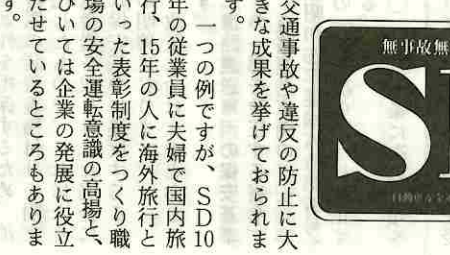
また、法律により決められていくとも人間社会の中で生活し、良好な人間関係を保持するため当然守るべき道徳(マナー)があり、相手を持つことや、譲り合う心を持つことが大切であり、これが秩序ある交通社会をつくり上げていくのです。

また、法律により決められていくとも人間社会の中で生活し、良好な人間関係を保持するため当然守るべき道徳(マナー)があり、相手を持つことや、譲り合う心を持つことが大切であり、これが秩序ある交通社会をつくり上げていくのです。

また、法律により決められていくとも人間社会の中で生活し、良好な人間関係を保持するため当然守るべき道徳(マナー)があり、相手を持つことや、譲り合う心を持つことが大切であり、これが秩序ある交通社会をつくり上げていくのです。

また、法律により決められていくとも人間社会の中で生活し、良好な人間関係を保持するため当然守るべき道徳(マナー)があり、相手を持つことや、譲り合う心を持つことが大切であり、これが秩序ある交通社会をつくり上げていくのです。

また、法律により決められていくとも人間社会の中で生活し、良好な人間関係を保持するため当然守るべき道徳(マナー)があり、相手を持つことや、譲り合う心を持つことが大切であり、これが秩序ある交通社会をつくり上げていくのです。



また、法律により決められていくとも人間社会の中で生活し、良好な人間関係を保持するため当然守るべき道徳(マナー)があり、相手を持つことや、譲り合う心を持つことが大切であり、これが秩序ある交通社会をつくり上げていくのです。

また、法律により決められていくとも人間社会の中で生活し、良好な人間関係を保持するため当然守るべき道徳(マナー)があり、相手を持つことや、譲り合う心を持つことが大切であり、これが秩序ある交通社会をつくり上げていくのです。

また、法律により決められていくとも人間社会の中で生活し、良好な人間関係を保持するため当然守るべき道徳(マナー)があり、相手を持つことや、譲り合う心を持つことが大切であり、これが秩序ある交通社会をつくり上げていくのです。

また、法律により決められていくとも人間社会の中で生活し、良好な人間関係を保持するため当然守るべき道徳(マナー)があり、相手を持つことや、譲り合う心を持つことが大切であり、これが秩序ある交通社会をつくり上げていくのです。

また、法律により決められていくとも人間社会の中で生活し、良好な人間関係を保持するため当然守るべき道徳(マナー)があり、相手を持つことや、譲り合う心を持つことが大切であり、これが秩序ある交通社会をつくり上げていくのです。

また、法律により決められていくとも人間社会の中で生活し、良好な人間関係を保持するため当然守るべき道徳(マナー)があり、相手を持つことや、譲り合う心を持つことが大切であり、これが秩序ある交通社会をつくり上げていくのです。

また、法律により決められていくとも人間社会の中で生活し、良好な人間関係を保持するため当然守るべき道徳(マナー)があり、相手を持つことや、譲り合う心を持つことが大切であり、これが秩序ある交通社会をつくり上げていくのです。

また、法律により決められていくとも人間社会の中で生活し、良好な人間関係を保持するため当然守るべき道徳(マナー)があり、相手を持つことや、譲り合う心を持つことが大切であり、これが秩序ある交通社会をつくり上げていくのです。

また、法律により決められていくとも人間社会の中で生活し、良好な人間関係を保持するため当然守るべき道徳(マナー)があり、相手を持つことや、譲り合う心を持つことが大切であり、これが秩序ある交通社会をつくり上げていくのです。

万沢小が全国4位

交通安全子ども自転車大会

県警本部と県交通安全協会主催の第二十四回交通安全子ども自転車大会は、県交通安全協会、県教委、県交母連の後援を受けて六月四日昭和町立西条小学校で開かれました。



子ども自転車大会で優勝した万沢小チーム

この大会は、小学校児童に対する自転車の安全教育の効果を高めるために、交通ルールや自転車の安全な乗り方を身につける習慣化することにより、子どもの交通事故を防止する目的で行われております。

損害保険代理店 株式会社たいよう共済山梨支店

